

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(13)	事業所の立地条件を含めると地域との協力関係、体制作りなど課題がある。	事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加協力を得ながら、避難訓練を定期的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の消防団、自治会への参加協力の依頼を行い、定期的な避難訓練を実施する。 ②職員と利用者様と一緒に年間を通した避難訓練を行う。 ③避難経路の確認や消火器の使い方などの訓練を定期的に行う。 	6ヶ月
2	(3)	地域の意見がホームサービス向上につながる運営推進会議とは言い難い部分がある。	地域とのつながりを広げ、地域の役割が担えるようにする。	地域づくりに向けた関係性の強化とし、老人会や婦人会・地区の民生委員等の地域関係者へ運営推進会議の参加依頼を行い、サービスの向上を図る。	3ヶ月
3	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有に取り組んでいるが、医療面との体制作りなど不十分な面がある。	重度化や終末期に対する各関係者や職員とのサポート体制を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ①かかりつけ医や看護師等や事業所側との具体的な話し合いの機会を作る。 ②ご本人様やご家族様に「急変時や終末期における意見確認書」「看取りについての同意書」の作成。 ③看取りに関する勉強会の実施。 	3ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。